

1 研究主題

小・中学校が連携して取り組む外国語活動・英語教育の充実
～コミュニケーション意欲・能力の育成を目指して～

2 研究の概要

柏崎市刈羽郡学校教育研究会が主体となり、柏崎市立教育センター、柏崎市・刈羽村教育委員会とタイアップしながら研究に取り組む。また、外国語教育担当者のための研修会などを通して日本の英語教育の動向等にも目を向け、求められているものと目指す方向を理解し、指導に反映させる。

- (1) 指導力向上のための研修を推進する。(英語教育に関する講義、教師のための英会話教室等)
- (2) 中学校区単位で外国語活動、英語教育に関する小・中連携を一層推進する。(授業研究会、外国語教育担当教員研修集会等)

3 研究の実際

(1) 授業研究会

期 日 平成 28 年 9 月 20 日 (火)
会 場 柏崎市立柏崎小学校
授業者 笠原 怜 教諭 (6 年担任)
内 容 半年後に中学校に入学する小学校 6 年生の授業ということもあり、小学校教員だけでなく、中学校の教員も多数参加した。



本時のねらいは、「世界遺産や道案内の表現に関わるゲームを通して、進んで道案内の表現を使ったり、世界の国々に関する知識を深めたりすること」である。そのために「ギリシャ」と「Greece」、「インド」と「India」など、英語と日本語で発音が異なる国名があることを各国の世界遺産と結び付けたゲームを楽しむ展開であった。

活動を活性化させるために、ペア、グループ、クラス全体へと活動を広げ、徐々に道案内の表現の仕方に慣れさせ、より多くの友達と交流できるよう工夫されていた。

協議会では、小中学校の会員が小グループで意見を交わし、小学校の外国語活動のねらいを改めて共有し、本時の協議題に対する手だての有効性について話し合った。

(2) 研修会

期 日 平成 28 年 8 月 8 日 (月)
会 場 柏崎市立教育センター
指導者 新潟大学教育学部教授 松沢 伸二 様
内 容 今後のあるべき指導方法について講義があった。



小学校外国語活動について、「目的・目標の確認」「慣れ親しみ活動、言語意識を育む活動、文化意識を育む活動等の進め方」の視点から講義をいただいた。中学校英語教育については、「基礎基本を習得するためのドリル・宿題」「主体的・対話的で深い学びを育む活動の進め方」「まとまりのある文章を書く力の指導と評価の改善」等について講義をいただいた。小学校と中学校の内容を研修することで、小中連携に対する理解が深まった。

4 成果と課題

外国語活動の課題として挙げられていた「小・中連携した取組」について、本年度も研究授業を通して理解を深めることができた。柏崎小学校の笠原怜教諭の授業は、小学校外国語活動のねらいに即した授業であり、小・中学校の教員の意見交換により理解が深まった。

また、新潟大学の松沢伸二教授による講義は、小学校外国語活動と中学校英語教育の実践上の課題を解決していくためのヒントとなった。今後の指導に生かしていくことが重要である。